

主要施設の詳細検討の状況について

大船渡市スポーツ施設整備基本計画において、主要施設に挙げた市営球場、市民体育館、市民テニスコート及び田中島グラウンド、存廃について検討が必要な三陸B&G海洋センタープールについて、今年度の対応状況などを下表のとおり整理した。

施設名	個別施設計画※での位置づけ	当面の対応
市営球場	検討組織を設置し、整備地や規模・規格、事業費などを調査・検討	(1) 他自治体での整備事例調査 (2) 規模・規格、整備候補地などに関する調査・検討
市民体育館	整備可能性調査などを実施しながら、検討組織を設置し、規模、整備イメージなどの概略を検討	(1) 他自治体での整備事例調査
市民テニスコート	夜間照明LED化（済） コート増設	(1) 他自治体での整備事例調査 (2) 利用者等ニーズの把握と関係者との意見交換 (3) 大まかな仕様の検討
田中島グラウンド	テニスコートへ転用	(1) 関係者への説明（協議）
三陸B&G海洋センタープール	存廃について検討	(1) 関係者への説明（協議） (2) B&G財団との協議

※大船渡市スポーツ施設整備基本計画の個別施設計画

市営球場

1 現況等

市営球場は、整備から 50 年以上が経過し、市内スポーツ施設の中で最も年数が経過した施設であり、照明設備やサブグラウンドなど附帯設備の欠如、電光掲示板の不具合、駐車場の不足など多くの課題を抱えている。

また、愛好者が多い野球の専用施設にも関わらず主な利用団体には減免対象が多く、利用料収入が少ない施設である。

大船渡市スポーツ施設整備基本計画においては、整備の方向性を「建替再整備」とした上で、主要施設の一つに位置付け、整備検討の視点や候補地ごとのメリット・デメリットの整理などを行った。

2 当面の対応

(1) 他自治体での整備事例調査

他自治体での整備事例を調査し、(2)の検討材料の収集を行う。現時点での調査内容については、資料 3 のとおり。

(2) 規模・規格、整備候補地などに関する調査・検討

令和 5 年度までの検討期間内に一定の結論を導き出すため、(1)の調査結果を踏まえつつ、関係者などと意見交換などを行いながら、各般の調査・検討を深める。

3 今年度の進捗状況

他自治体での整備事例の詳細調査を進めている。

市民体育館

1 現況等

市民体育館は、東日本大震災により大きな被害を受けたが、復旧工事を経て平成 26 年度に供用を再開。現在は、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用されるなど、スポーツ以外にも多岐に渡って利用される汎用性の高い公共施設である。

これまで空調設備改修や LED 化工事、雨漏り改修などを実施してきたが、市営球場と同様に付帯設備の欠如やバリアフリー化への対応などの課題を抱えており、機能性、利便性が高いとは言えない状況にある。

大船渡市スポーツ施設整備基本計画においては、整備の方向性を「長寿命化」としつつも、機能拡充や利便性向上を求める声が多いことなどを踏まえ、主要施設の一つに位置付け、整備検討の視点の整理などを行った。

2 当面の対応

(1) 他自治体での整備事例調査

他自治体での整備事例を調査し、検討材料の収集を行う。現時点での調査内容については、資料 3 のとおり。

3 今年度の進捗状況

他自治体での整備事例の詳細調査を進めている。

市民テニスコート

1 現況等

市民テニスコートは、令和2年度の市内スポーツ施設において、利用者数・利用件数ともに最多であり、令和2年度の利用日数に基づく施設稼働率※が、約93%と非常に高い施設である。

また、利用料収入が維持管理費を上回る唯一の施設として、経済性にも優れている。

大船渡市スポーツ施設整備基本計画においては、整備の方向性を「新規整備（拡張整備）」とした上で、主要施設の一つに位置付け、詳細検討として、整備検討の視点の整理や整備規模・時期などについて、踏み込んだ検討を行った。

※ 施設稼働率の算出

令和2年度の市民テニスコートは、条例上の休館期間(12/29～1/3 6日間)と、新型コロナ対策による休館期間(計60日間)を差引いた299日間のうち、278日利用されたことから、利用日数に基づく稼働率を $278 \text{ 日} / 299 \text{ 日} \times 100 = 92.9\%$ と算出した。

2 当面の対応

(1) 他自治体での整備事例調査

他自治体での整備事例を調査し、検討材料の収集を行う。現時点での調査内容については、資料3のとおり。

(2) 利用者等ニーズの把握と関係者との意見交換

大船渡市体育協会や大船渡市テニス協会を始めとした関係団体や利用者などのニーズを的確に把握するため、こうした関係者との意見交換を行う。

(3) 大まかな仕様の検討

(1)、(2)を受け、拡張するテニスコートの大まかな仕様を検討するなど、設計業務に向けた準備を進める。

3 今年度の進捗状況

大まかな仕様の検討に当たり、現場確認・精査などを行っている。

田中島グラウンド

1 現況等

田中島グラウンドは、東日本大震災以降、応急仮設住宅建設の影響を受けて学校のグラウンドが使用できない市内野球スポーツ少年団などが利用していたが、これらの復旧に伴い、利用が大きく減少している施設である。

大船渡市スポーツ施設整備基本計画においては、整備の方向性を「用途転用」とし、隣接する市民テニスコートの拡張整備に向けて用途転用を進めることとしている。

2 当面の対応

(1) 関係者への説明（協議）

主な利用者であるソフトボール愛好者や少年野球関係団体に対し、市民テニスコートの拡張整備に伴う用途転用に係る説明（協議）を行う。

3 今年度の進捗状況

現場確認・精査などを行っている。

三陸B & G海洋センタープール

1 現況等

三陸B & G海洋センタープール（以下、「プール」という。）は、B & G財団が平成2年に整備し、市に無償譲渡した公共のスポーツ施設である。こうしたプール、艇庫など海洋性レクリエーション施設を有するB & G海洋センターが、全国に470か所ほど点在しており、巨大なグループを形成しているのが大きな特徴である。

東日本大震災以降、施設近隣の中学校の統合のほか、民間事業者や隣接する市町村において屋内型温水プールの整備が進められた影響により、利用者の減少が続いている。

大船渡市スポーツ施設整備基本計画においては、整備の方向性を「存廃について検討」とし、関係者等との協議を進めている。

2 当面の対応

(1) 関係者への説明（協議）

綾里地区公民館やプールの主な利用者である地元地域のこども園に対し、プールの存廃に係る説明（協議）を行う。

(2) B & G財団との協議

上記のとおり、プールはB & G財団によって整備された施設であることから、施設を廃止することになった場合の対応や財産処分等について、同財団と協議を行う。

3 今年度の進捗状況

全国のB & G海洋センターにおけるプール廃止の事例調査と、関係者等との協議を進めている。